

教授会議事録

日時：平成21年4月14日（火）14時00分から16時35分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、4月1日付け採用の助教から自己紹介があったほか、助教会代表、技術職員代表、4月1日付け採用の技術職員、4月1日付けの人事異動に伴う事務部長、図書係長、庶務係主任から、各自の自己紹介があった。

また議長から、人事異動について配付資料により報告があった。

議事録の確認

平成21年3月10日（火）開催の定例教授会議事録及びホームページ公開用議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 教育研究評議会

3月11日に開催された臨時教育研究評議会について、下記の報告があった。

- ① 井上プラン2009年度改訂版（案）について
- ② 部局の第二期中期目標・中期計画（第二次案）について

引き続き3月24日に開催された教育研究評議会について、下記の報告があった。

- ① 井上プラン2009年度改訂版（案）について
- ② 平成21年度年度計画案について
- ③ 学内財源（総長裁量経費及び目的積立金）を活用した新たな整備手法による建物整備計画について
- ④ 平成20年度総長裁量経費（第3回）について
- ⑤ 組織の変更について
- ⑥ 情報セキュリティポリシーについて
- ⑦ 規程の制定について
- ⑧ 工業化諸国との教育協力プログラム（ICI ECP）において実施する「自然科学高等大学生教育におけるEU-Japan国際交流プログラム（INTERFACES）の学生交流に関する協定の締結について
- ⑨ 第二期中期目標・中期計画（策定作業経過）について
- ⑩ 寄附講座・寄附研究部門の設置及び寄附研究部門の設置期間変更について
- ⑪ 動物実験センター（仮称）及び遺伝子実験センター（仮称）設置準備ワーキンググループ報告について
- ⑫ 学生の懲戒について

(2) 部局長連絡会議

議長から、3月24日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ① 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について
- ② 教育情報基盤センター設置概要について
- ③ 学内財源を活用した新たな整備手法による建物整備計画について
- ④ 平成20年度総長裁量経費（第3回）への対応について
- ⑤ 総長特別賞について
- ⑥ 教員・非常勤講師等の雇用上限年齢の取り扱いについて
- ⑦ 専門職大学院の認証評価結果について

- ⑧利益相反マネジメントの規程化について
- ⑨独立行政法人理化学研究所との連携・協力に関する協定の締結について
- ⑩平成21年度グローバルCOEプログラムへの応募について
- ⑪情報化推進の実施状況について
- ⑫動物実験センター（仮称）及び遺伝子実験センター（仮称）設置について
- ⑬平成21年度キャリアプランセミナー概要について
- ⑭平成21年度新入生歓迎会について

(3) 学生生活協議会

4月6日に開催された学生生活協議会について、入学試験・学位記授与式・入学式が無事終了したこと、及び春先は各種勧誘活動が盛んに行われるので、健全なキャンパスライフが送れるよう注意喚起したこと、及び川内キャンパスの美術館・仙台二高間交差点と青葉城跡入口付近のS字カーブの二か所で交通事故が多発していることで、学生に注意喚起願いたい旨説明があった。

(4) 附属図書館商議会

配付資料に基づき、3月19日に開催された附属図書館商議会について、附属図書館本館の開館時間延長に伴う各部局の光熱水料等経費負担について説明があり、通研も相当の経費を負担するため、1年間試行を実施して、例えば休業期の早朝開館等について費用対効果を検討いただくよう意見した旨の報告があった。

また、雑誌等の「共同購入方式」について、配付資料のとおり2010年度の共同購入から新モデルで購入することについて説明があった。

(5) 研究教育基盤技術センター運営専門委員会

配付資料に基づき、「東北大学における設備整備に関するマスタープラン」について、通研の「ナノ・スピン実験施設の評価システム」は選外となり、平成26年度に通研の「ナノ集積回路測定システム」が概算要求予定である旨説明があった。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画委員会

3月締切で本部に提出した「共同利用・共同研究拠点」申請書の内容について報告があり、了承した。

併せて、研究企画委員会について、下記のとおり報告があった。

- ① 法人評価で通研の評価が芳しくなかったことについて、通研の課題となる事業についての記載が明確化されていなかったことの反省が行われたこと。対応策として、部門・グループ会議を定期的に開催して今後のプロジェクトを提案願いたいこと。
- ② 6重点領域のロードマップについて、各部門長等が説明する形式で5月の通研教授会前に「研究交流会」を開催したい旨提案があり、了承した。

なお、①9月2日から4日電子情報通信学会と情報処理学会の合同フォーラム「FIT2009」が東北工業大学を会場に開催されるので、多数参加いただきたいこと②2010年3月16日から19日に東北大学川内キャンパスを会場に、電子情報通信学会2010年総合大会が開催されるが、最近東北大学電気・情報系教員の参加が少なく座長に就任する機会が減っている傾向にあるので、多数参加・発表いただきたい旨依頼があった。

(2) 将来計画委員会

4月6日に開催した将来計画委員会について、①将来の研究ユニットの構成の在り方について②将来の研究分野の構成・学術範囲の構えについて検討し、今後研究ユニットについて具体的な案を検討・

提案予定である旨報告があった。

(3) 安全衛生委員会

3月24日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ①南門の外側の道路について、陥没等の不備があるので、用度係から本部を通じて仙台市へ要望することとしたこと。
 - ②新しい実験装置を設置する場合、規格によっては事前届出が必要な場合があるので、安全衛生管理室にご確認いただきたいこと。
 - ③4月9日に開催した安全衛生講習会について、新しく通研に配属された教職員・学生245名が参加したこと。
- なお、欠席者については各研究室で安全教育を行う旨付言があった。

(4) 総務委員会

総務委員会について、下記の報告及び協力依頼があった。

- ①10月10日・11日開催予定の片平まつりについて、今年度は東北大学ホームカミングデーと同日であり、通研公開として各研究室も展示に参加するのでご協力いただきたいこと。
- ②7月30日・31日開催予定の青葉山電気系オープンキャンパスについて、例年通りポスター展示で参加を予定しており、公開実験を2件程度行えるよう提案していること。併せてパンフレット等の原稿依頼を実施しているため、ご協力いただきたいこと。
- ③研究活動報告・通研要覧等の編集を開始し、今月末を締切に各研究室に原稿を依頼しているので、ご協力いただきたいこと。

(5) 建物環境委員会

配付資料に基づき、共通研究スペースに入る研究室が決定した旨、及び移転したS202の教授室について客員教授室とする旨説明があった。

(6) 移転対応プロジェクト委員会

現在「実施設計」の段階であり、「基本設計その2」の確認と変更可能箇所について、設計業者とのヒアリングを継続している旨説明があった。

また、「基本設計その2」の項目の中で、「実施設計」で当初予定していた振動レベルの実施が困難な「低振動実験室」と「低振動PCR」についてヒアリングを継続しており、「基本設計その2」の受注業者と「実施設計」の受注業者が異なるため「基本設計その2」で合意・確認された事項が、「実施設計」の受注業者に完全に引き継がれていない可能性があるため、各研究室に「引継書」を配付しているが、内容を十分に確認いただきたい旨依頼があった。

(7) 学部教務委員会

配付資料に基づき、3月17日及び4月7日に開催した学部教務委員会について、下記の説明があった。

- ①学生の追加配属が23名決定したこと
- ②再試験の評価点について、工学部教務委員会と検討したこと
- ③平成21年度クラス担任・副担任の交代について
- ④工学部教務委員会の申し送り事項等について
- ⑤アドバイザーの人選について
- ⑥新入生オリエンテーション及び学部生ガイダンスが終了したこと
- ⑦学部3年生の成績算出について
- ⑧次年度への引き継ぎ・申し送り事項について

- ⑨学籍異動について、情報知能システム総合学科の学生の割合が高いこと
- ⑩再試験の評価方法について、各学科で定めることとなり、ただし、共通科目に関しては工学部教務委員会が定める共通の評価方法とすることとし、平成21年度4月入学者から適用することと決まったこと
- ⑪工学部・工学研究科教育相談室の相談件数について
- ⑫学部学生のコース分けについて
- ⑬修学指導を来週実施すること
- ⑭高専からの編入学生の単位について
- ⑮系内教務委員会の役割分担について
- ⑯学生実験Bの担当者について
- ⑰2009年度先行履修制度の電気・情報系の学生について
なお、学生配属について、学部学生1名配属は教育上好ましくないので2名配属願いたい旨通研から要望している旨、付言があった。

(8) 電気・情報系進路指導委員会

電気・情報系進路指導委員会について、下記の説明があった。

- ①例年より2週間早く、3月31日まで学校推薦の学生を決定し、4月1日から就職活動を開始したこと。
- ②博士課程前期の学生264名に対し、18名が博士課程後期進学予定であり、例年より減少していること。
- ③博士課程前期の学生の学校推薦希望者が165名であり、推薦の割当が決まっていること。自由応募希望が36名、その他が45名であること。
- ④学部学生250名中206名が進学希望であり、学校推薦希望者が8名、自由応募希望が11名、その他が25名となっていること
- ⑤学生の就職活動の今年の傾向として、例年より若干推薦数が少ないものの、一定の求人数を確保していること。それに対して学生が敏感に反応し、特定企業に希望が集中していること。
- ⑥医工学研究科の設立に伴い、バイオ関係企業への希望が増えたこと。
- ⑦エントリーシートのセレクションで、今年は企業の態度が厳しいのが特徴で、自由応募から学校推薦に変更する学生が多いのが特徴。面接等のハードルが高そうとの理由で、就職活動の前半で辞退する傾向にあるので、学生への就職指導でフォローいただきたいこと。

3. その他

(1) 平成22年度概算要求について

議長から、配付資料に基づき、平成22年度概算要求について報告があった。

(2) 平成20年度共通施設等決算報告について

下記の施設責任者等から、平成20年度決算報告について、配付資料に基づき報告があった。

- ① IT-21センター
- ② やわらかい情報システム研究センター
- ③ 研究基盤技術センター
- ④ 図書室

なお、SCS事業の終了に伴い、SCS経費の配分が昨年度で終了した旨付言があった。

(3) 奨学寄附金及び受託研究の受け入れについて

経理係長から、平成20年度第4半期及び平成20年度年間分について、配付資料に基づき報告があった。

(4) 平成20年度所長裁量経費及び平成20年度通研間接経費使途報告について

経理係長から、配付資料に基づき報告があった。

- (5) 平成20年度電気通信研究所研究教育助成金経理報告について
経理係長から、配付資料に基づき報告があった。
- (6) 職員・学生の受賞について
議長から、配付資料に基づき報告があった。
- (7) 通研共同研究員について
議長から、配付資料に基づき報告があった。
- (8) 受託研究の受入について
議長から、配付資料に基づき報告があった。
- (9) 民間等との共同研究の受入について
議長から、配付資料に基づき報告があった。
- (10) 研究所等研究生の受入について
議長から、配付資料に基づき報告があった。
- (11) 平成21年度通研共同プロジェクト研究提案書の採択について
配付資料に基づき、平成20年度通研共同プロジェクト研究のAタイプ+Bタイプについて63件の申請があり、審査委員会により点数制で審査した結果、下位の6件を不採択とし、57件を実施することとした旨説明があり、承認した。
なお、審査方法について質問があり、今年度は昨年度と同様の方法で審査を行ったが、来年度の審査方法について、今後共同利用委員会で議論したい旨説明があった。
また、共同利用委員会が共同プロジェクト研究委員会に名称変更される旨付言があった。
- (12) 労使協定について
総務課長から、平成21年4月1日付けで下記の労使協定を締結した旨の報告があった。
 - ① 時間外労働・休日労働に関する協定（36協定）
 - ② 専門業務型裁量労働制に関する協定
 - ③ 計画的年次有給休暇付与に関する協定なお、1日の勤務時間が8時間から7時間45分に短縮された旨付言があった。

II. 協議事項

1. 助教の採用について

配付資料に基づき、平成21年5月1日付けで、年俸制・任期3年の条件で、やわらかい情報システム研究センター助教として採用したい旨提案があり、検討の結果、承認した。

2. 助教の退職について

議長から、先端音情報システム分野助教について、平成21年4月1日付けで、北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教の割愛があったため、退職した旨の提案があり、承認した。

3. 平成21年度客員研究分野教員について

議長から、配付資料に基づき、平成21年度客員研究分野教員の任用期間を継続したい旨提案があり、検討の結果、承認した。

4. 研究支援者（科研費研究員）の任用について

議長から、配付資料に基づき、研究支援者（科研費研究員）の任用について提案があり、検討の結果、承認した。

5. 運営協議会内規の改正について

議長から、配付資料に基づき、運営協議会内規について「協議事項」を明確にすることを目的として第2条を追加したい旨提案があり、検討の結果、承認した。

6. 大学間協定について

(1) キングモンクット工科大学ラカバン校との大学間協定の更新について

議長から、配付資料に基づき、定期的に教職員・研究者の交流等を実施しているため、協定を更新したい旨提案があり、検討の結果、承認した。

(2) ベルリン工科大学との大学間協定の締結について

配付資料に基づき、工学研究科と原子分子材料科学高等研究機構と協力し、大学間協定として、ベルリン工科大学と新たに協定を締結したい旨提案があり、検討の結果、承認した。

なお、8月中旬に総長が、ベルリン工科大学を訪問し、協定の調印式を実施する予定である旨付言があった。

III. その他

1. その他

(1) 国際シンポジウムの開催について

配付資料に基づき、4月20日から22日に片平さくらホール・ナノ・スピン実験施設カンファレンスルームにて、“Global Symposium on Millimeter Waves 2009”を開催する旨、及び4月23日10時から、2号館4階大会議室で Michael Marcus 氏を講師に招いて、“White Space in USA”について講演会を開催するので、多数参加いただきたい旨依頼があった。

(2) 第36回ナノ・スピン工学研究会について

4月17日午前中にナノ・スピン工学研究会を開催し、今回のテーマは「テラヘルツ波技術のトモグラフィー応用」であり IEEE Sendai-Section からも共催いただいたため。多数参加いただきたい旨依頼があった。

(3) 次回の開催について

平成21年5月12日（火）15：00から開催することとした。